

ウォーキングクラブ 7月定例会・森林公園植物園(有料)散策

実施日：2022.07.21 (木曜日)



尾張旭駅前で観光案内地図でコースの確認



新井の大弘法大師像に感動「でかい！」

今朝の新聞によれば、新型コロナウイルスの感染者は全国で新たに15万3千人程が確認され、愛知県では1万3千人であった。ここ最近では収束に向かっていて、海の日3連休以降に急激に増加して、今後第7波のピークになるとの事であった。後期高齢者の小生は先週4回目のワクチン接種を終え気分的には、他人様の様に感じていたが、マスクと手の消毒は心がけ、人様に迷惑を掛けないように気配りしている。しかし、盛夏のウォーキングの対応は辛いものがあります。

ところで何時もの定例会に比べ、会員の方からも敬遠されて今回は11人の参加になりました。名鉄大曾根駅改札口に9時05分に集合し、急行で僅か13分の乗車で尾張旭駅に下車しました。駅前には昔のイメージが一新され綺麗に整備され、駅前ロータリーの尾張旭市観光案内板の前で今日の見所とウォーキングコースの説明です。

11名の会員は先ず、駅前メインストリートを横切り新興住宅地を通り抜けて、退養寺を素通りし、新井の大弘法大師像に向かいます。

退養寺の裏山の幾らか涼しい木陰トンネルを歩いて石段を昇りつめれば突然巨大な弘法様に遭遇しました。一般に思う弘法大師とはかなりイメージが違い、かなり個性的な独特の風貌で、行脚をしながら修行されている迫力のある弘法様でした。ウィキペディアによれば、浅野祥雲さんの作成した彩色されたコンクリート仏像です。

仏師の浅野祥雲さんはこの他、尾張では犬山神社や、五色園で多数制作されています。

それぞれの像は個性があり一度見れば忘れる事もなく異色のコンクリート像です。ペンキ塗装の彩色は地元のボランティアの活動により、綺麗に管理されている事も感激です。

大弘法像を後にし、大きな維摩池の堰堤を右回りに池を半周し、交差点を渡れば森林公園植物園南門です。入口で入場料¥220.-を支払い「7月の

花マップ」を受け取りました。

「木陰の森」の道に沿って右手には手入れの行き届いた花壇の洋花が咲き乱れていました。

公園内はアス舗装の管理道路を始め、木片チップを敷き詰めた道など、或いは自然豊かな山道など色々のコースがあり分かり易い道標と花マップで個人の好みでセレクト出来る様にレイアウトされている事が良く分かりました。

未だ、暑さに慣れていない事もあり、木陰を選んでのんびり散策ハイクです。

岩本池の小川にかかる橋を渡り、湿地池に向かいサギソウを探しに木道を上流に向けて花探訪です。残念ながら未だ早いのか、見つける事ができませんでした。気を取り直して展示館に向かいます。展示館にはコロナウイルス禍以前の天皇陛下ご夫妻の植樹祭のビデオが流れていました。

展示館を後にして芝生広場とお野立所に向かいます。綺麗に芝刈りされた緩やかな丘では、10人程の高齢の方が思い思いに紙飛行機を飛ばしていました。入道雲をバックに優しく飛行する紙飛行機を眼で追い、小生も小学校の校庭での経験を思い出し、懐かしく見上げれば70年前にタイムスリップして童心に還りました。

紙飛行機同好会の皆さんは定期的にこの芝生広場に集まり楽しんでおられるとの事でした。

「紙飛行機は工夫して制作する楽しみ、飛ばす楽しみの他、芝生を歩いて飛行機を回収し手軽な運動になり、脳と指先と身体を鍛える良い趣味です」「どお～入りませんか？」

ランチは芝生広場の丘の上の東屋です。涼しげな風が通り抜け11時半過ぎに早飯ランチになりました。「未だ早いので昼寝でもしようかな？」なんて声も聞けました。あまりゆっくりするのも気分が弛緩してかえって疲れるものです。

沈床花壇の噴水池の階段で集合写真を撮ってもらい、植物園東門の回転ドア一通り抜けます。

一般公園に入り、右に児童遊園地、左にセンター広場を見て、丸い屋根の野外演舞場を眺めて正門に到着です。正門のバス停に運よく僅かの待ち時間で12時27分のコミュニティーバスに乗車して三郷駅に向かいました。

バスは中型で参加者が大勢の時は乗り切れないのでは無いかと計画時は心配していましたが、幸い参加者は11名でしたので全員乗車でき、無事に帰宅できました。

(撮影 北川 健一・作文 宮田いわを)



陽射しが強く、夏のウォーキングは難行苦行



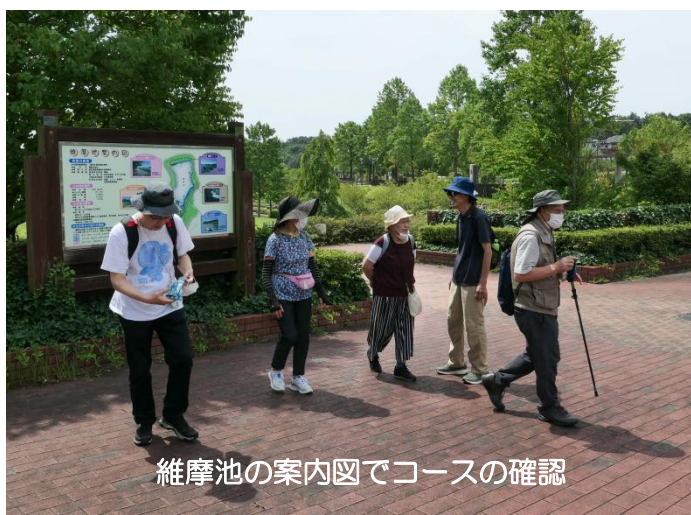
噴水池の前で記念撮影、みんな笑顔で顔施



東屋を抜ける涼風「涼しくて霧ヶ峰みたい！」
ランチタイム「何を食べても美味しいネ！」



維摩池を巡りて森林公園植物園南門へ



維摩池の案内図でコースの確認



未だ間に合った、森林公園で一番綺麗な紫陽花